

安全運転の基本

1. 車間距離をとる。(緊張が少なく、疲れが少なく、余裕のある運転ができる)
2. 雨天の下り坂、カーブ走行はスピード50%OFF
(ブレーキを踏んで止まる距離を通常の2倍と考えて走行する)
(直線道路でも、ハンドルを切ったのブレーキは、カーブ走行と同じ)
3. 常に自分の車が、他車両を避けて走行する運転に心がける。他車両が避けてくれると思わない。
4. 長時間走行のとき、他車両や信号により順行する受動的運転とは別に、時々、ブレーキとハンドル操作により走行性を確認し、スピード等の限界を確認する。
(何となく走行すると、錯覚したり、緊急対応が遅れたり、眠くなる)
(車の座席が、応接室のソファに座っていると錯覚して、スピードゼロに思える)

古川桂司

昭和48年 競技運転者Aライセンス(国内)取得
ラリー等参加